

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高志ニュース

No. 727

'06. 7. 19

暑中お見舞い申しあげます

太平洋高気圧の勢いが力不足で、梅雨明けは平年より遅れそうと、18日の赤旗白刊紙の天気欄には書いてありました。いよいよ今週、県会議員の神々選挙が始まります。日本共産党の議席が増える大チャンス。水分を十分とり熱中症に気をつけて頑張ります。みなさん暑夏をのりきってください。

核兵器のない平和で公正な世界を

「原水爆禁止2006年世界大会」
「核兵器のない平和で公正な世界を」メインテーマに、「すみやかな核兵器廃絶のための行動と共同」「平和の国際ルールと日本国憲法9条」「被爆・核被害の実相の普及、支援と連帯」をサブテーマに、原水爆禁止2006年世界大会が広島と長崎で開催されます。

フリーの人々



8/4 広島

代表派遣募金にご協力を

原水爆禁止世界大会は、世界唯一の戦争による被爆国日本の平和運動が、核兵器をなくすために世界に呼びかけて開く集会です。そこには、核兵器廃絶の運動とともに、反戦平和、飢餓や貧困、格差の克服など、さまざまな分野のNGOや若者、さらには核廃絶の願いを共有する各国政府や自治体の代表が垣根を越えて参加し、交流します。

原水爆禁止世界大会は、反核平和のために草の根で活動する人々が、その行動を世界につなげる場です。その主人公は、行動する人ひとりの私たちです。8月4日(金)と6日(日)の2日間、今年4月の県議会議員選挙の総定数を46人とし、選挙区ごと(郡・市域で14選挙区)の定数について賛成多数で可決されました。日本共産党議員団は、地方自治法が定める定数46人を維持し、各選挙区での定数配分は、票の格差を2倍未満とするように主張しましたが、議会内に設置した定数問題検討委員会で

こんにちは

県会議員の
ふじい 健太郎です。
(その156)

県議会の議員定数の「削減」を求める直接請求がありました。今年2月議会で来年4月の県議会議員選挙の総定数を46人とし、選挙区ごと(郡・市域で14選挙区)の定数について賛成多数で可決されました。日本共産党議員団は、地方自治法が定める定数46人を維持し、各選挙区での定数配分は、票の格差を2倍未満とするように主張しましたが、議会内に設置した定数問題検討委員会で

日(の世界大会・広島へ、日本共産党市会議員団から後みつる議員が参加します。代表派遣募金にご協力を。各会派の意見がまとまらないなかで、私たち議員団は総定数46人を維持すること、選挙区での定数配分は多数の一致点となったことを評価し、賛成しました。

地方議会の議員は、その地域の住民を代表し、行政の監視と住民要求を代弁する役割を担っています。くらしの充実願う住民の応答性を行政に届けるためにも「行政改革」と称して議員数を減らしていくことには賛成できません。



13. 健太郎 議員
県会

国保連協で、後みする議員奮闘

7月10日(月)市・国民健康保険運営協議会(日本共産党委員は、後みする市議)が開かれ、国会議で後市議から報告がありました。今回の運営協議会は、出生産育児一時金を現行の30万円から35万円に引き上げることに對して意見を求められ、後議員は、国民健康保険法に県の責任が明記されたあり、県にも補助を求め

るべきとの意見を述べたとのこと。後みする議員は、公的年金控除の縮小による保険料への影響を質問したところ事務局より、2万人に影響し、例えば、700万円の年金所得で2人世帯の場合、今年度の保険料が2万6690円で、07年度は3万6400円に、08年度は6万4000円になるとの説明があったと

うです。後議員は、国民健康保険特別会計で06年度と08年度までで、億3千万円の増収になることに對し、増収部分を活用し年金控除の縮小により保険料が値上がりになる方への緩和策と来年度の保険料を値上げしないことを求めたとのこと。

演説会
おひせ
7月27日(木)
19時30分～
ブック愛

こんにちは 日本共産党



国連安全保障理事会は15日午後、北朝鮮によるミサイル発射を非難し、ミサイル開発関連の物資を北朝鮮に渡さないよう各国に求める決議/69

ちを全会一致で採択しました。決議は、北朝鮮に對し弾道ミサイル開発に關連するあらゆる活動を中止し、ミサイル発射を再度凍結することとともに、6カ国協議への即時、無条件復帰を求めています。国連の全加盟国に對しては、北朝鮮のミサイルや大量破壊兵器の開発に關連する物資や資金

の移出入をしないよう要請しています。日本共産党の志位委員長は、この決議について、今回、国連安全保障理事会が全会一致で決議案を採択したことは有効で筋が通ったものであること、北朝鮮政府がこの決定に迷うことを強く要求するとの演説を発表しました。

潮流

(66.7.13日(木))

誰が言い出したのか「平和ボケ」という言葉があります。憲法9条を変えたいと思っている人たちが好みます。9条のために日本人は平和ボケになり、危険があってもノホホンとしている。目をさませ！。こんな具合に使います。だから、北朝鮮が勝手にミサイルを発射したりすると、彼らは内心「それみたことか」▼しかし、勇ましくみせる人ほど「平和ボケ」ではないかと思うときが多い。たとえば、敵ミサイル基地を攻撃する力をもつべきだ、と唱える政治家。ミサイル発射で世界の関心を北朝鮮に向けさせたから「金正日に感謝しないといけない」といったと報じられる、麻生外相らです。▼外相は、ミサイル基地攻撃は「間違いない正しい」とのべました。「当然」と語ったのは、額

賀防衛庁長官。同じ意見の持ち主、安倍官房長官は、わが意をえたりとばかりに応じます。「つねに検討、研究は必要」と▼さっそう、韓国が反発しました。朝鮮半島を二度と戦場にしたい韓国は、緊張激化の芽をみつたい。なのに、「日本の政治指導者の先制攻撃発言などによって、事態を悪化させるおそれがある」(盧大統領)。彼らは、戦争のこのさも分かっていない。「平和ボケ」です。▼もう一つ。彼らは、軍国日本が犯した罪の自覚が薄い意味で「平和ボケ」です。外相は以前、韓国への植民地支配を正当づける発言でひんしゅをかいました。韓国が「基地攻撃」論を「日本の侵略主義的傾向」(大統領府)と警戒するのも無理ありません。

ぶん 赤旗 日刊紙 2900円/月